

平成21年度行政評価推進委員会の進め方(予定)

今年度の外部評価項目

次の事項について、ご意見ををお願いします。

- 1 総合振興計画の実現に向けた施策・活動となっているか。
- 2 成果とコストのバランスは適切か。
- 3 職員の対応、評価表等の記載内容は、市民への説明責任を果たしているか。

評価の方法

上記の評価項目について、別紙「施策評価におけるチェックポイント」を参考に、昨年度同様、施策ごとに総合的に判断して「優」「良」「可」「不可」の判定をお願いします。

行政評価推進委員会開催予定

- 第1回 7月2日**
- 平成20年度行政評価の取り組みに関する総括 説明
 - 平成20年度行政評価結果を踏まえた取組み 説明
 - 平成21年度行政評価推進委員会の進め方 説明
 - 施策評価 2施策程度(1時間×2施策)
ヒアリング、意見交換、評価

- 第2回 7月29日**
- 施策評価 3施策程度(1時間×3施策)
ヒアリング、意見交換、評価

- 第3回**
- 施策評価 3施策程度(1時間×3施策)
ヒアリング、意見交換、評価

- 第4回**
- 施策評価 3施策程度(1時間×3施策)
ヒアリング、意見交換、評価

- 第5回**
- 総括
 - 委員会報告書

ヒアリング・意見交換・評価の時間配分(目安)

- 施策概要説明 5分 主管部長説明
- 質疑 20分
- 意見交換 20分
- 評価(合議) 15分

評価対象施策

別紙「平成21年度行政評価推進委員会 評価対象施策(案)」のとおり予定していますが、ご意見ををお願いします。

施策評価におけるチェックポイント

委員の皆様には、別添資料「基本施策の考え方」等をご覧いただき、下記のチェックポイントを中心に、ご意見をいただきますようお願いいたします。

なお、送付させていただいた資料では把握できない事項や、疑問点等がありましたら、当日会議の場にてご質問いただきますようお願いいたします。

評価項目	チェックポイント
課題について	<ul style="list-style-type: none"> ・課題は明確か ・課題の根拠は明確か(課題だといえる根拠は何か) ・課題に取り組む必要性は明確か(なぜ、取り組まなければならないのか) ・市が取り組む必要性は明確か(なぜ、南丹市が取り組む必要があるのか) など
目的について	<ul style="list-style-type: none"> ・目的の方向性は明確か(実現しようとする状態は何か) ・目的の必要性は明確か(なぜ、その方向へ向かうのか[課題の必要性と同じ場合あり]) ・市が取り組む方向として妥当か[課題に取り組む必要性と同じ場合有り] など
目標について	<ul style="list-style-type: none"> ・到達しようとする目標は明確か ・目標の根拠が明確か(達成目標が意味のあるものとなっているか) ・目的の方向性と目標が合致しているか ・成果の測定は合理的で十分か ・成果の発現は十分か など
総画との関係と振興計画について	<ul style="list-style-type: none"> ・総合振興計画が目指す方向性と合致した方向性となっているか ・他の関連施策や事業との連携は図れているか など
課題解決の事業構成について	<ul style="list-style-type: none"> ・目的達成に向けた課題解決策は適当か ・目標達成に向けた効果的な活動内容となっているか など
コストについて	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト配分は適当か ・効率的な施策(事業)執行となっているか など
総合評価の方向性の改善について	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の達成状況について適格な評価となっているか ・目標設定や施策の考え方の見直し、展開の方向性が明確か ・活動内容(事業)の方向性は明確か など
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の推進による弊害は生じていないか ・市民へ説明やアピールは十分行えているか など

平成21年度行政評価推進委員会 評価対象施策(案)

○ 平成20年度評価施策

施策CD	政策	施策	事業数
11	第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る	1 安心して子育てできるまちをめざす	35
24	第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る	4 ひとを温かく迎える	16

○ 平成21年度評価施策(案)

施策CD	政策	施策	事業数
12	第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る	2 明日を担い、内外で活躍するひとを育てる	30
25	第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る	5 伝統文化を継承する	14
32	第3章 人・物・情報を高度につなげる	2 鉄道をさらに便利にする	8
35	第3章 人・物・情報を高度につなげる	5 双方向の情報通信基盤をつくる	3
34	第3章 人・物・情報を高度につなげる	4 誰もが安心な地域交通システムをつくる	4
31	第3章 人・物・情報を高度につなげる	1 高速移動の網を広げる	0
33	第3章 人・物・情報を高度につなげる	3 安全で快適な主要道路でつなぐ	6
36	第3章 人・物・情報を高度につなげる	6 にぎわいの市街地をつくる	8
21	第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る	1 豊かな緑と清流を守る	37
23	第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る	3 南丹ブランドの「ほんまもん」をつくる	29
15	第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る	5 ふるさとで働ける場をふやす	4

○ 平成22年度評価施策(案)

施策CD	政策	施策	事業数
45	第4章 共に担うまちづくりの仕組みを築く	5 未来を担う人づくりを進める	4
26	第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る	6 暮らしの安全と安心を守る	28
43	第4章 共に担うまちづくりの仕組みを築く	3 多様な担い手のパートナーシップを育てる	3
42	第4章 共に担うまちづくりの仕組みを築く	2 住民自治の地域づくりを進める	7
44	第4章 共に担うまちづくりの仕組みを築く	4 大学等と連携し、ともにまちをつくる	1
22	第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る	2 資源が循環するまちをつくる	18
46	第4章 共に担うまちづくりの仕組みを築く	6 行財政改革を推進する	8
14	第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る	4 医・食・住の充実と高齢者や障がいのある人の自立を支援する	96
41	第4章 共に担うまちづくりの仕組みを築く	1 共に生きるまちづくりを進める	20
13	第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る	3 生涯にわたって学び、活かす機会をつくる	31